

ひとが輝くまち



YUZA Town Public Relations

令和元年 No.703

9

広報

ゆざ



今月の話題

遊佐町合併65周年記念式典	2P
三十路成人式	3P
空き家再生地域おこし事業第2弾！	4P
下水道で住みよい生活環境を！	5P
ほか		

遊佐町合併65周年記念式典

令和元年は現在の遊佐町が誕生してから65周年の節目に当たります。8月1日(休)には、遊佐町合併65周年を記念して式典が行われました。



遊佐高等学校ソーラン部による勇壮な演舞が披露されました

昭和29年に1町5村が合併し、現在の遊佐町が誕生してから65年が経ちました。8月1日(木)の合併記念日には、生涯学習センターホールで記念式典が行われ、国會議員や県議をはじめとした関係者など総勢約250名にご参加いただきました。



多くのご来賓からご出席いただきました

式典では、オープニングセレモニーとしてユザブルームジュニアによる演奏と、遊佐高等学校ソーラン部による演舞が披露されました。

町の発展に寄与してきた先人の御霊に黙とうをささげたのち、

町長が「オール遊佐の英知(町民力)を結集し、「子供たちに夢を」「いきいきゆぎの構築」「鳥海山との共生」の具現化が図られるよう、この遊佐町の豊富な人材、伝統、文化の力を活かしたまちづくりに取り組んで参りたい」と式辞を述べました。引き続き表彰式が行われ、永年にわたり町政発展などに尽くされた6団体45個人に、町長より表彰状が贈られました。



町の発展に尽力された方々に表彰状が贈られました

今後まだまだたくさんの方々の記念事業が控えています。ぜひたくさんの方のイベントに参加いただき、町民の皆さまと65周年の喜びをともしたいと思います。

表彰された方々

(敬称省略 順不同)

◎自治振興表彰

【町議会功労】故堀満弥、土門勝子、故伊藤マツ子、那須良太、佐藤智則、筒井義昭

【行政功労】佐藤憲三、小野寺一博、高橋正樹、石垣秀雄、佐藤俊之、高橋アイ子、佐藤幸一、佐藤正光、佐藤俊一、森隆好、土門清

◎教育振興表彰

伊藤淳子、遠田和夫、石垣裕一、高橋栄子、佐藤禎宏、赤塚祐吉、本間正明、村上良一、後藤弘実、今野三和子、小田原裕、土門京、鈴木宏弥、杉沢比山連中、女鹿アマハゲ保存会、滝ノ浦アマハゲ保存会、鳥崎アマハゲ保存会

◎産業振興表彰

佐藤豊昭、尾形修一郎、鈴木憲一

◎社会福祉表彰

菅原俊一、菅原和女、富樫弘子、佐藤徳江

◎地域治安表彰

佐藤仁、伊藤文夫、大井英夫、粕谷光治、齋藤勇喜、畠中敬一郎

◎地域活動表彰

株式会社庄内環境エネルギー代表取締役社長 加藤聡、株式会社庄内風力発電 代表取締役 見上伸、前田伸一

◎感謝状

増田恒男(神奈川県)

祝 三十路成人式

2019年 遊佐町

「でっけど
~DECADE~」



三十路成人式 でっけど ~ DECADE ~

8月11日(日)、生涯学習センターで三十路成人式~DECADE~が行われました。遊佐町民同窓会「遊人会」のサポートのもと、10回目となる今年は約40名が参加し、中学時代を懐かしみながら再会を喜び合いました。



欠方ぶりの再会



恩師の先生からのメッセージ



町へ一問一答

近年全国的に目
しており、先日
も大きな地震が
遊佐町の象徴で
噴火した場合、
べき行動を教え

令和2年度三十路成人式実行委員募集！

次年度の三十路成人式実行委員を公募します。

- 募集期限 / 令和元年12月31日まで
- 応募方法 / 氏名・生年月日を明記の上、メールまたは遊人会のフェイスブックページ (www.facebook.com/yuuuinkai) へメッセージをお送りください。
- 問 / 遊人会メール: yuuuinkai@gmail.com
企画課まちづくり支援係 ☎72-4524

「遊人会」とは

三十路成人式で得た「繋がり」や「気づき」を忘れないようにと、第1回三十路成人式で結成された遊佐町民同窓会です。



みんなすっかりお酒の似合う大人に

空き家再生地域おこし事業第2弾！

『ぱん屋小むぎ』がオープンしました！



空き家再生地域おこし事業とは

町内の空き家をお店などに再生して、起業する移住者に貸し出し、起業者と地域の皆さんが一緒になって町を盛り上げようとする事業です。昨年5月には事業の第1弾として、古民家カフェ『わだや』がオープンしました。

昨年6月に行われた第2回空き家ばなしをしよう会で出た意見を元に、町民の皆さんからアンケートを取り、空き家再生地域おこしプロジェクトの第2弾としてパン屋さんを作ることが決定しました。それから空き家・空き店舗を活用した店舗のDIYや店主の募集に取り組み、8月26日(月)について『ぱん屋小むぎ』がオープンしました。

『ぱん屋小むぎ』の紹介

元は美容室だった建物が、パン屋さんへと生まれ変わりオープンしました。店内はおしゃれな空間へと仕上がりが感じられます。お店にはあんぱんや食パン、メロンパンといったパンから、塩パンやおかずパンなども並んでいます。

『小むぎ』の店主、坂井恵美子さんは元は遊佐町の出身で、6月に関東から旦那さんと移住。家族に焼きたてのパンを食べさせたいと思い、パン教室に通いました。いつかパン屋さんを開いてみたいと思っていた

ところ、たまたま町の空き家再生地域おこし事業と運命の出会いを果たし、今回の出店と成りました。そんな坂井さんオススメのメニューは、やわらかい食感がイチオシの『食パン』。外はしっかり、中はもちもちの食感は、生地のコネ具合、できあがりの感覚が味噌なんだとか。「明るい雰囲気のお店にしていきたい」と笑顔で語る坂井さんのお店『小むぎ』、ぜひ訪れてみてください。



おしゃれなお店とパンたちが待っています

空き家再生地域おこし事業の今後の予定

空き家再生地域おこし事業は今年度で最終年。事業の最後となる店舗は食堂を予定しています。現在は再生する空き家・空き店舗の選定を進めているところです。また、DIY講座について募集をかけて行く予定です。皆さんぜひご参加ください。

プロジェクトの告知等については、地域おこし協力隊のHP「来ちゃいなよ。ゆざまち」(<http://yuzamachi.com/>)でお知らせしていきます。プロジェクトの告知以外にも、町のおもしろい記事がたくさん掲載されていますので、ぜひご覧ください。

「来ちゃいなよ。ゆざまち」はこちらから
● 企画課定住促進係

☎ 2818257

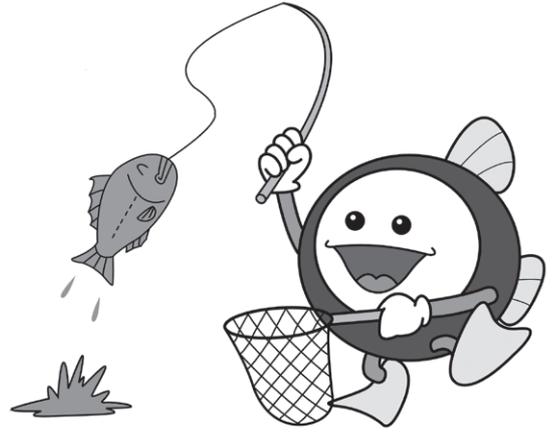


ぱん屋小むぎ -Information-

住所 遊佐町遊佐字南田筋51-12
営業時間 AM10:00~売り切れまで
定休日 水・土・日
駐車場 約2台分
アクセス 遊佐駅より徒歩5分
☎070-3614-2426

9月10日は下水道の日です

下水道で住みよい生活環境を！



★整備工事がついに最終年度です

平成27年度から着手してまいりました公共下水道事業が、ついに今年度で完了します。最終年度は、田中集落と、千本柳集落の一部の整備に着手しています。3月末には供用開始の予定です。これで予定されている整備工事はすべて完了することになります。

★下水道への接続を

お願いします

下水道が利用可能な区域に住んでいる人は、下水道への接続が義務付けられています。多額の費用をかけて整備しても、皆さんから下水道に接続してもらわなければ施設を維持していくことはできません。供用開始している地域の皆さんは、一日も早く下水道へ接続していただくようお願いいたします。

★下水道に接続するメリット

① 浄化槽の維持管理が不要になります

浄化槽の維持管理には定期的な保守点検や汚泥処理費用、浄化槽法第11条にかかる法定検査手数料やプロアの電気代などの費用がかかります。

② 生活環境の改善

し尿のみを処理する単独処理浄化槽の場合は、トイレの排水しか処理しないため、台所やお風呂等の雑排水は側溝等へ流れていきます。

下水道に接続すれば、側溝等への生活雑排水の排出がなくなり、悪臭、ハエや蚊などの害虫の発生が減少し、衛生的で快適な生活ができるようになります。

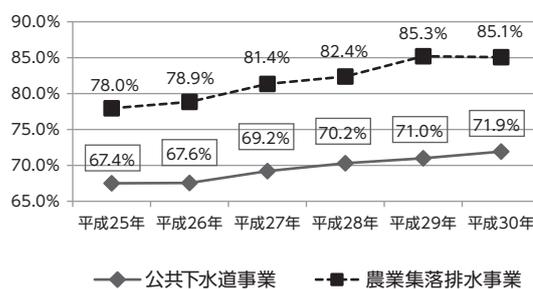
③ 水の環境を守ります

家庭などから出る汚れた水をきれいにして河川に戻すので、きれいな川や海を未来に残すことができます。

★遊佐町の水洗化率

水洗化率とは、下水道が使えるようになった区域の人数のうち、水洗トイレを設置して汚水を下水道で処理している人数の割合です。

下水道水洗化率（利用率）の推移



★下水道接続に利用できる助成制度があります

町内における建物の居住環境の向上や、定住促進を図る目的で「持家住宅リフォーム支援金制度」、「住宅リフォーム資金利子補給制度」があります。どちらも管理係で受付しておりますのでぜひご利用ください。

● 閩 / 地域生活課下水道係

☎ 72-15894

※助成制度については管理係

☎ 72-15883

くみとりトイレをご利用されている場合は、**供用開始後3年以内**に（下水道法第十一条の三）、浄化槽をご利用されている場合は、**供用開始後遅滞なく下水道に接続してください**。（下水道法第十条第一項）。家を新築もしくは改造する場合は、**必ず下水道に接続してください**（建築基準法第三十一条）。



2019年度 遊佐町国際交流事業 姉妹都市ハンガリー・ソルノク市派遣事業参加者募集

姉妹都市であるハンガリー・ソルノク市への派遣事業の参加者を、下記のとおり募集します。参加者からは「同年代のハンガリーの友達ができた」、「英語が話せなくても、伝える力、積極性、周りを見る力が身についた」、「チャレンジ精神が増し、コミュニケーション能力についても増して帰ってきたようだ（保護者）」などの声をいただいております。ぜひご応募ください。

実施時期	2020年3月18日(水)～25日(水) 8日間(予定) ※行程上、変更することがあります。	
訪問先	ハンガリー・ソルノク、ブタペストおよびオーストリア・ウィーン(予定)	
内容	ソルノクでのホームステイ、学生との交流、市内見学など	
募集人員	①町内在住・通学の中学生・高校生 12名 要件1) 事業遂行に意欲のある健康で協調性のある方 要件2) 帰国後、国際交流事業にお手伝いいただける方 要件3) これまで当派遣事業に参加したことがない方 ②団長・副団長・一般団員 4名 要件) 町の国際交流事業のスタッフとして協力できる方	
参加費用	①中学・高校生 10万円 ②団長・副団長・一般団員 15万円 ※パスポート、任意保険、小遣い等の経費は自己負担となります。	
応募方法	次の書類によりお申込みください。(書類は役場企画課窓口、町のHP、NPO法人いなか暮らし遊佐応援団事務所で入手できます。) ①参加申込書 ②作文 [(1) 応募した動機、(2) 訪問先で何をしてみたいか、(3) この体験を今後どのように生かしていきたいか] *上記3項目を明記して400字詰め原稿用紙2枚程度にまとめてお書きください。(明確でない場合は、選考から外れることがあります。) ③承諾書(保護者、生徒の在籍する学校の校長または応募者の事業主)	
申込期間	2019年10月31日(木) 午後5時まで<必着>	
派遣団員の決定・その他	①応募者全員の作文審査を行います。作文審査通過者が定員以下の場合は作文審査通過をもって決定し、定員を超えた場合は本人による公開抽選会により決定しますが、申込状況により高校生を優先とする場合があります。 ②規律ある団体活動を体得し、また親善・文化交流等に必要な知識を得るため、任命式(12月)、研修会(1月～3月・5回程度)、出発式・到着式、帰国後の報告を行います。	

● 問・申 / 企画課企画係 ☎72-4523

NPO法人いなか暮らし遊佐応援団 ☎43-6941 (事務所:Aコープゆざ店2階)

「最上川さくら回廊事業」 植栽参加者を募集します

山形新聞・山形放送では、さくらの植栽参加者を募集しています。

● 植栽地 / 吹浦児童公園

● 植栽日時 / 10月26日(土)午前11時から

● 対象 /

- ①町在住、出身などゆかりの人で、植栽日に出席できる方
- ②家族、学校(学級単位も含む)、老人クラブ、地域組織などの団体。植えた桜に植栽者名を刻んだプレートを付けます。

● 応募方法 / はがきで受け付けます。家族の場合は植栽地と応募動機、郵便番号、住所、全員の氏名と年齢、職業(学校、学年)、電話番号を明記。団体の場合は、植栽希望地と応募動機、団体名、代表者の氏名、電話番号を明記してください。

● 応募締切 / 9月9日(月)必着。応募多数の場合は抽選。当選者には通知します。

● 問・応募先 / 〒990-8550 山形市旅籠町2-5-12 山形新聞社編集局内「最上川さくら回廊」係
☎023-622-5385
平日午前9時30分～午後5時

「日本海と大地がつくる水と命の循環」

《第57回》
ジオがつなぐ

海底噴火と神社



秋田地学教育学会
板垣 直俊 氏

秋田県旧本荘市の市街地の北、子吉川の北側の高台に、新山公園があります。この公園には、裸参りで有名な新山神社もありますが、鳥海山と子吉川、市街地そして日本海を一望できる見晴らしの良さで、市民から親しまれています。新山公園では、標高約一四〇〜一五〇メートルの丘が南北方向に並んでいます。実はこの丘は、約七六〇万年前に海底火山の噴火によってできた「新山安山岩」でできています。海底火山の噴出物が堆積し、その後数百メートル隆起して、現在の高度になったのです。「新山安山岩」を最も良く観察できる場所は、新山神社の真下にある「椿森」です（ここにはヤブ

ツバキが群生しています。「椿森」では、岩山の崖に、マグマが水中で砕けて角礫の塊となった凝灰角礫岩や凝灰岩などを観察できます。かつて秋田県の大部分が海の底だった時代、旧本荘市の北方で大噴火があったことを目で確認することができます。

観察中に崖の下に目をやると、多くの石仏が目に残ります。この石仏は、公園ができた時に西国三十三観音を模して、近くの石籠寺から移されたものだそうです。



椿森の新山安山岩と石仏

新山神社の起源は、修験者が新山安山岩の岩山で修行を行ったことに由来するそうです。ここは、海底噴火と神社がつながる面白い場所の一つです。

古代の息づかいを現代へ

遊佐町の文化財紹介

遊佐町の文化財 その57

明治のお雇い外国人 による鳥海登山

その2

日本列島中央部を横断する大きな溝状の地帯をフォッサマグナと命名した日本の近代地質学の礎を築き、ナウマンゾウにその名を残すドイツ出身の地質学者・考古学者ハインリッヒ・エドムント・ナウマン（1854〜1927）も明治12年（1879）、

鳥海山に登り、講演会や論文で鳥海山の崇高美を讃えています。特に鳥海山の巨大な影が日本海に映し出される奇観「影鳥海」は強い印象を与えたようです。

「日本海に近いところにそびえているすべての火山のうちで、鳥海山は最も魅力的で興味深い山である。その峰は、一つの古い陥没火口の真ん中であって、破碎された岩石のオベリスクをなしている。それは、麓を大きな雪田に覆われ、夢のような姿で高くそびえている。（中略）日の出のときにこの高台の縁に立ち、海面上の、この火山の巨大な三角形

の影を見た人は、日が昇るにつれて、その影が急速に小さくなるのを見たであろう。世界中のすべてのものは足下にあつて、太陽の光を浴びている。神秘的な色の変転がおさまってきて、山と谷が目をはくようになると、われわれが立っているところから南方の、あらゆる周辺から抜きん出てそびえる月山に目をうばわれる。」

「日本群島の構造と起源について」（1885）山下昇 編・訳『日本地質の探求―ナウマン論文集―』（東海大学出版会）より引用



影鳥海 写真提供 佐藤 要

● 関 / 教育課文化係 ☎ 72-5892

伝統の舞を披露 杉沢比山番楽現地公演

杉沢比山は毎年8月の6日「仕組」、15日「本舞」、20日「神送」の三夜にかけて演じられる番楽で、昭和53年に国の重要無形民俗文化財として指定されています。杉沢比山の歴史は古く、その起源は鎌倉時代を下るまいといわれています。もともとは鳥海修験の山伏によって舞われたものが、いつしか杉沢の人々へと受け継がれてきたものと考えられています。蕨岡小学校で行われている比山体操は、杉沢比山の動きを取り入れたもので、伝統の舞を後世へとつなぐために役立っています。



三夜にかけて伝統の舞が披露されました



「蕨折り」の木こり役は子どもたちにも人気があります

15日(木)には熊野神社で「本舞」が行われ、町内外から多くの人が訪れました。伝統の番楽が舞われる舞台には、子どもたちが食い入るように張り付きまます。木こり役のユーモラスな掛け合いが人気の演目「蕨折り」では、演者と観客が掛け合う姿も。舞の最後を飾る演目「猩々」では、刀を口に咥えて舞うアクロバティックな動きに、観客から拍手が送られました。

蔵王坊平高原を力走 ジュニア駅伝競走大会

8月4日(日)上山市蔵王坊平高原で、第22回山形県ジュニア駅伝競走大会、第44回蔵王坊平クロスカントリー大会が開催され、町を代表して小中学生の男女23名が大会に挑みました。当日は猛暑の中、アップダウンの激しいコースを力走し、男子、女子とも17位と健闘しました。クロスカントリー大会に出場した13名も各種目で活躍しました。



猛暑にも負けず力走!

株式会社月見さんより遊佐中学校 に扇風機が寄贈されました

7月22日(月)、株式会社月見より遊佐中学校に扇風機10台が寄贈されました。月見さんの設備更新に伴い使用しなくなったものを、どうか活用できないかと考えてのもの。寄贈された扇風機は、相談室や保健室、図書室などのエアコンの整備がされていない教室や、持ち運びできる点を活かして中学校でのさまざまな場で活用される予定です。



白旗夏生社長(右)より扇風機と目録が手渡されました。

フォト トピックス

Photo
Topics



想像の翼広げて



7月24日(水)から8月29日(日)にかけて、生涯学習センター、町立図書館で「遊佐町まんが・イラスト展2019」が開催されました。町をモチーフにした作品やオリジナルの作品など計18点が展示され、会場を彩りました。

蛇に雨を願う



7月14日(日)、鹿野沢地区で「蛇祭じゃまつり」が行われました。蛇祭は大干ばつの際に龍が雨を降らせたという伝説から、災難消除と五穀豊穡を願い、藁の蛇を引き集落を回る祭り。巨大な藁の蛇は、当日に大人たちが力を合わせて編み上げる大仕事です。

野沢地区少年相撲大会



8月14日(水)、野沢農村公園で地区の少年相撲大会が行われました。今年は地区の児童や幼児20名がまわし姿で参戦。一本勝負や五人抜きによる取組が行われ、厳しい夏の日射しにも負けない熱戦を繰り広げました。



暑い夜を楽しみました

第31回ゆざ町夕日まつりが7月13日(土)、7月27日(土)の2夜にかけて開催されました。13日には遊樂里前ふれあい広場にて夕日コンサートが開催。今年は鳥海太鼓保存会をはじめとした地元団体の他、ゲストとして沖縄出身のロックバンド「CIVILIAN SKUNK」と、昨年シベリアンスカンクから引き続き2度目となる「Honey Days」エルデイズが出演。コンサートは大盛り上がりで、来場された皆さんから楽しんでいただきました。

第31回ゆざ町夕日まつり 夕日コンサート



世界に誇れるまちの文化について、ぜひ触れてみてください。

ユネスコ無形文化遺産登録記念

アマハゲイラスト展

旧青山本邸では遊佐の小正月行事(アマハゲ)のユネスコ無形文化遺産登録を記念し、7月13日(土)から「アマハゲイラスト」展が開催されています。イラスト展では、アマハゲの顔出しパネル等を手がけた木山由紀子氏の原画や、町の地域おこし協力隊の高橋可奈絵隊員制作の絵などのほか、アマハゲ行事の特色等を紹介したタペストリーも展示されています。イラスト展は9月8日(日)まで開催していますので、この機会にユネスコ無形文化遺産に触れてみてはいかがでしょうか。

まちかど ホット ライン



読者の広場



集中して絵付けに取り組む児童たち

オリジナルの表情描いて 高瀬小学校でこけしの絵付け教室

7月17日(水)、高瀬小学校でこけしの絵付け教室が開催されました。この取り組みは町の兄弟都市である宮城県大崎市との交流事業で、大崎市鳴子より伝統こけしの職人

オリジナルの表情描いて、高瀬小学校でこけしの絵付け教室が開催されました。この取り組みは町の兄弟都市である宮城県大崎市との交流事業で、大崎市鳴子より伝統こけしの職人

共存の森の下草刈り作業が おこなわれました!!

7月27日(土)に吉出地内において、町内外の有志32名のボランティアによる下草刈り作業が行われました。共存の森は、平成23年に採石跡地を町が購入し、その後後実生の松や杉の生育を妨げないよう、毎年7月の最終土曜日に下草刈り作業をおこなっております。昨年度から学習の一貫として、遊佐高生によるナラの植林体験を始めており、町が所有する森林の体験フィールドとして今後更に自然を身近に感じられる場として、活用を進めていきます。今年の下草刈り



松くい虫に強い抵抗性苗を植樹しました。

7月18日(木)、丸子の観音様の森で高瀬小学校3年生による植樹活動が行われました。観音様の森は高瀬八景のひとつで、シーズンには多くの方が写真を撮りに訪れる景観スポット。しかし、松くい虫の被害のため今年の春に一部が伐

あの風景をもう一度 高瀬八景丸子観音様の森植樹活動

7月18日(木)、丸子の観音様の森で高瀬小学校3年生による植樹活動が行われました。観音様の森は高瀬八景のひとつで、シーズンには多くの方が写真を撮りに訪れる景観スポット。しかし、松くい虫の被害のため今年の春に一部が伐



下草刈りボランティアに、沢山の参加ありがとうございました。

倒されていました。この日は、もう一度高瀬八景の景観を取り戻そうと、北庄内森林組合の協力の下、松くい虫に強い抵抗性苗10本を植樹。児童たちも役割分担をして植樹活動に取り組みました。松の木は30年で成木となります。長い時間はかかりますが、未来の高瀬八景を、みんなで守り育てて行きます。

おつきなスイカをプレゼント! 道の駅ふらつとで

メロン・スイカ祭り

7月28日(日)、道の駅鳥海ふらつとの農産物直売所で、ひまわりのお会によるメロン・スイカ祭りが開催されました。この日はメロン・スイカの食べ比べやお得な野菜の詰め合わせ販売の他、特大スイカの贈呈式も行われました。この贈呈は、七夕にちなんでテラスに飾



スイカは家族で仲良く食べてね!



弟の翔瑛くんと

今野 紬さん(松山)

Tsumugi Konno
平成10年生まれ

突発でセルフツデーマーチしてます!!!!!!

■一言／

地元恋しさから、今年の4月頃に東京からUターンして遊佐に戻ってきました。私は地元がすごく好きで、東京に居た頃から帰省すると、友人を誘って遊佐を満喫する「セルフツデーマーチ」などをしていました。おすすめは中山河川公園から上戸に向かうコース。途中で遊佐を見渡せるスポットがあり、そこからの眺望がお気に入りです。

Uターンからは、庄内町で小さな金属部品を作る仕事をしています。この時期は職場もすごく暑くて、毎日汗だくになりながら働いています。職場は少し遠いですが、車の運転は好きなので通勤も楽しみのひとつ。大変なこともあります、職場の同僚や先輩も優しく、毎日楽しく働いています。

■町への要望／

セブンイレブンのおにぎりやコーヒー、ホットスナックなど、どれもすごくおいしいので、町にもセブンイレブンが欲しいです！町内にできるという噂を聞いて期待しています。赤飯のおにぎりもすごくおいしいので、ぜひ食べ比べしてみてください！

第50回町民盆踊り大会

第50回町民盆踊り大会が8月14日(水)に開催されました。今年は何年か場所を少し変え、遊佐駅前から盆踊りがスタート。15団体約410人が舞手として参加し、花笠音頭や鳥海音頭を踊りました。幕間には遊佐小学校金管バンドや遊佐町民謡愛好者の会による演奏、遊佐高ソーラン部や遊め組による

られた笹に短冊を飾ってくれた子どもたちに応募用紙を配り、抽選で大きなスイカをプレゼントするという催し。見事当選した庄内町のあらかきもかちゃん、ゆりかちゃんに大きなスイカが手渡されました。



鳥海山を望みながらの盆踊り大会となりました

演舞の披露が行われ、沿道は多くの人で賑わいました。今年も審査の結果、遊佐町長賞にチームさわらび、遊佐町商工会町賞に順仁堂遊佐病院親和会、遊佐町商工会青年部長賞に特別養護老人ホームゆうすい、特別賞に月光園・ゆうとぴい職員親睦会が選ばれました。

まちかどスナック



飛島を望むひまわり畑
藤井集落

鳥海登山で移住者との交流

集落支援員だより



鳥海湖が笑顔で迎えてくれました

7月20日(土)にNPO法人いなか暮らし遊佐応援団が主催の移住者交流会「遊佐で遊ぶ会」に参加しました。移住者に遊佐を知ってもらい、交流の場を作るために年に数回開催されています。今回はリクエストが多かった鳥海登山へ行きました。当日は良い天気にも恵まれ、景色も最高でした。歩きながら、参加者のみなさんと移住してからの生活などについて話を聞くことができ、とても有意義な時間でした。一緒に鳥海山に登ったことで、より親近感を感じました。

集落支援員 渋谷一行、佐藤正子

☎72-3981 FAX28-8455 (集落支援員事務所：Aコープゆぎ店2階)